

千代田区 協働を進めるためのプログラム

平成15年3月
千代田区政策経営部

1 協働を進める環境づくり

協働の総合窓口設置

協働を着実に進めることができるよう、区とNPO・ボランティアとの協働に関する総合窓口を設置します。総合窓口は、NPO・ボランティアへの情報提供等の窓口となるとともに、区役所内部の調整・連携を進める要となります。平成15年度は、政策経営部企画総務課に窓口を置き、政策提案制度の受付や中間支援組織との連絡、その他情報提供、調整等を行います。

協働情報のPR

区報や区のホームページなどを活用して、現在区が抱えている課題や今後力を入れていく分野をPRし、NPO・ボランティアからの斬新な発想や実施方法への助言、協働の申し出などを積極的に求めていきます。

庁内推進体制の整備

NPO・ボランティアとの協働を具体的に進めるためには、行政の縦割りを越えた横断的な検討・推進体制が必要です。総合窓口を中心に、日常の情報交換を進めるとともに、提案等をNPO・ボランティアとともに検討し、各部の役割を決める場を整備します。

職員の理解促進・意識改革

職員がNPO・ボランティアについて理解を深め、仕事の進め方について意識を改革していくことが、協働を円滑に進めるためには大変重要です。NPO・ボランティアとの協働について、先進的な自治体のノウハウを学んだりしながら、全国的な動向を捉えるとともに、NPO・ボランティアの活動者と交流するような実体験の伴う研修を実施していきます。さらに、交流から一歩進み、職員が新たな価値観や行動様式を身につけ、行政全体の体質改善を促していくことができるよう、一定期間、NPO法人等の運営に参加する研修を実施していきます。

2 協働の成果を大きくするために

協働のルールづくり

NPO・ボランティアとの協働に対する基本的な考え方、協働事業や相手の選定、協定に盛り込む事項など、区としてのルールを整備し、公表していきます。

なお、ルールは、時代の変化に対応するため、協働相手となるNPO・ボランティアとともに、使いやすいものに更新していきます。

協働事業の評価の実施・公表

協働によって提供したサービス内容が、その事業目的を十分達成するものであったかなどを評価する手法を検討し、実施します。

なお、評価はNPO・ボランティアと区がそれぞれ行い、結果を合わせてさらに分析するなど、協働事業の一環として位置づけていきます。

中間支援組織との連携

ちよだボランティアセンターや公社等の中間支援組織は、すでにNPO・ボランティア関連情報や、各団体とのつながりなどを蓄積してきました。また、区内には、NPO活動を支援するNPO法人や財団も多く、全国的に活動を展開しています。これらの組織は、協働のコーディネート役としての機能も果たしていることから、区は、これらの機関と十分連携して、協働の円滑な推進に取り組んでいきます。

3 政策形成過程からの協働の充実

政策提案制度の充実

NPO・ボランティア団体から、区との協働を前提とした政策の提案を求め、関係する部署と提案団体とが検討・協議しながら、事業化に取り組むことにより、お互いの立場や文化の違いを乗り越えて意識改革が図れるような仕組みとして導入した「NPO・ボランティアとの協働に関する政策提案制度」について評価しながら、今後一層の充実をしていきます。平成14年度は、13団体から22件の応募がありました。平成15年度以降も募集する予定です。募集は区のホームページと広報に掲載するほか、中間支援組織の協力を得てPRしていきます。

また、検討経過はホームページに掲載します。

協働関係の広報周知

区の事業に地域団体やNPO・ボランティア等が参画している場合は、事業説明やPRの際、区の担当部署と団体名を併記し、協働関係を周知することにより、事業の透明性を向上していきます。

4 活動支援の仕組みづくり

NPO・ボランティア活動やイベントのPR

従来の広報紙やホームページだけでなく、区内広報板やメールマガジンを使うなど、区民が身近に感じる多様な手法を組み合わせ、NPO・ボランティア活動やイベントの周知を支援します。

NPO・ボランティア体験・参加機会の提供

区が実施する行事はもちろん、区の施設を使用するイベントには、できるだけボランティアが参加する内容を求めたり、学校や企業に働きかけるなどして、積極的にボランティア体験・参加できる機会を創り出していきます。現在区の施設では、次のようなボランティアの活動が行われています。

特別養護老人ホーム：シーツ交換、洗濯物整理、外出行事介助 等

高齢者センター：会食サービス、マッサージ 等

富士見福祉会館：生活実習教室、行事の介助 等

幼稚園・保育園・こども園：保育補助 等

児童館：読み聞かせ、行事運営補助 等

NPO間や、NPO・ボランティアと企業・大学等との交流促進

特色ある企業や多くの大学等が集積する千代田区においては、企業や大学等とNPO・ボランティアの連携による新たな教育活動やサービス展開などに大きな可能性があります。千代田区では、平成14年度に区内の11大学と、図書館の相互協力など従来の取り組みを充実し、さらに総合的に推進するため、「千代田区・11大学連携協力会議」を設置しました。また、ちよだ産学連携協議会では大学と商工団体の交流・連携を推進しています。これらの取り組みの中で、NPO間の交流が進み、NPO・ボランティアと企業・大学等との交流・出会いの機会が増えるよう働きかけていきます。

情報のネットワーク化

NPO・ボランティアの活動に関しては、現在、国・地方公共団体、企業、その他様々な方面から連携・協働の提案、活動支援の案内などがあふれています。千代田区でも、区が直接情報を発信するほかに、ちよだボランティアセンターや公社等も独自の情報を流しています。お互いのホームページにリンクを張るなど、必要などころに必要な情報が使い勝手良く届くよう、情報のネットワーク化を進めます。

活動継続への支援

千代田区で活動するNPO・ボランティアにとって、活動場所やイベント会場の確保は難しい課題の一つです。区では、区民館・区民会館、社会教育会館、パークサイドプラザ、総合体育館など区の施設の空室照会、利用予約等がインターネットを使ってできるようにするなどして使いやすくし、活動の継続を支援します。